

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第78号

古牧だより通算172号

## 「みどりの移動市長室」開かれる 古牧地区の『子育て支援』について市と意見交流

9月9日、「みどりの移動市長室」が開かれました。

加藤久雄市長はじめ長野市からはこども未来部の部長他、こども政策に係わる7人のみなさんを古牧児童センターにお迎えし、古牧地区の子育て支援活動「にこにこ広場」を見学していただきました。市長からは、少子高齢化の進展する中で、地域で子どもを育てること、それは今を生きる私たちの使命であり、経験を活かして地域のために活躍してほしいとあいさつをいただきました。

会場では、古牧小学校5年4組の児童たちにも参加してもらいました。小さな赤ちゃんをおそろおそろ抱っこした男子児童は、泣きだした赤ちゃんにとまどいながらもほのぼのとした様子で嬉しそうでした。よちよち歩きの子の手をとり階段を昇り降りする女子児童に声をかけると「今日はとても楽しい」と笑顔が返ってきました。

会場を五分一公民館に移し、懇談会を行いました。古牧地区からは武重博明住民自治協

議会議長、関係役員、子育て支援活動に携わって

いるみなさん総勢20人が参加しました。子育て広場を開催している民生児童委員協議会ならびに更生保護女性会、古牧地区12区で実施している子育て支援の地道な活動を話題に懇談しました。気張らず、かまえず、つつましく、お金は掛けられなくても心は掛けて、情熱を持って取り組んでいる子育て支援活動に対し市側からは、素晴らしい活動をしていると評価をいただきました。

また、古牧児童センターの冷房対策やトイレ問題など、私たちの要望に対し前向きな発言を頂き、有意義な懇談会となりました。

(福祉部会)



## 古牧地区全戦没者追悼法要 (9月27日西光寺)



僧侶読経



追悼のことば  
(永坂遺族会長)

### 主な内容

「第34回 防火・防犯・交通安全ポスター」表彰式開催	2
第43回少年少女球技大会(野球)開かれる	2
「にとはちさま」公演を終えて	3
鎮魂歌	3

敬老会	4
「傾聴ボランティア養成講座」が開催されました	4
秋の交通安全運動週間	5
公民館対抗球技大会開かれる	5
10月～11月の主な行事実施日のお知らせ	6
娑婆鉛筆	6



# 「第34回 防火・防犯・交通安全ポスター」表彰式開催

中央警察署・消防局・古牧小学校等の来賓を迎えて9月6日、古牧公民館で「第34回 防火・防犯・交通安全ポスター」表彰式が総勢100名で開かれました。

受賞者は消防団のラッパ吹奏により栄誉礼を受けました。防火ポスター9点は消防分団長賞・消防団長賞、消防局長賞、防犯



ポスター6点は防犯協会長賞と警察署長賞、交通安全ポスター3点は交通安全協会長賞の計18点が受賞。防犯ポスターで受賞した三陽中学3年生の永田夏奈子さんが、このポスターが「おれおれ詐欺防止」の一助になればと語り、「詐欺に気をつけろ」の人形劇DVDが放映されました。



最後に交通安全全部長より、全体の応募率が24%とのところ中村区の小学生は84%と一生懸命に取り組んだこと、来年は多くの小学生・中学生がポスター事業に参加し、安全で安心して住める街づくりに努めてほしいとあいさつがあり、ポスター表彰式の

幕を閉じました。今回のポスター応募者数は、総数528点、小学生が437点、中学生が91点でした。(防犯部)

幕を閉じました。

今回のポスター応募者数は、総数528点、小学生が437点、中学生が91点でした。

(防犯部)



平成27年

## 第34回 防火・防犯・交通安全ポスター受賞者

学年	防火ポスター	防犯ポスター		
小学校 1年生	消防分団長賞	交通安全協会長賞	平 林 (古牧小) きたむら (こね) 北村 琴音	西和田 (古牧小) こやま (めいさ) 小山 明紗
			西和田 (古牧小) いはら (りょうすけ) 井原 怜介	平 林 (古牧小) ぎぶ (たくま) 儀部 琢磨
			北条 (日大長野小) あおやま (りょうた) 青山 凌大	西和田 (古牧小) おぎくぼ (はるな) 荻窪 晴捺
小学校 2年生	消防分団長賞	交通安全協会長賞	西和田 (古牧小) おおや (あおぼ) 大矢 青葉	西和田 (古牧小) おまた (あやこ) 小俣 絢子
			上高田 (南部小) こばやし (かつよし) 小林 克佳	西和田 (古牧小) ほしむち (ゆうへい) 橋本 悠平
			南高田 (緑ヶ丘小) おあた (まきと) 太田 真仁	上高田 (南部小) よしむら (たいよう) 吉村 太陽
小学校 3年生	消防分団長賞	交通安全協会長賞	川端 (櫻ヶ岡中) さいとう (けんすけ) 斎藤 健介	西尾張部 (三陽中) むらた (としき) 村田 隼基
			五分一 (三陽中) あいうら (まりな) 相浦満理奈	五分一 (三陽中) かまた (りか) 鎌田 梨加
			上高田 (櫻ヶ岡中) せきかわ (もとたか) 関川 泉尊	西和田 (三陽中) なかと (かなこ) 永田夏奈子
中学校 1年生	消防局長賞	警察署長賞		
中学校 2年生				
中学校 3年生				

(敬称略)

## 優勝は緑ヶ丘少年野球部 第43回 少年少女球技大会(野球)開かれる

9月13日(日)に第43回少年少女球技大会(野球)が犀川グラウンドで開かれました。選手宣誓が元気よく行われ試合がスタート。

結果は、優勝が緑ヶ丘少年野球部、準優勝が古牧キッズ、3位が上高田少年野球でした。

優勝チームの監督さんは、「苦しい時を一生懸命練習した成果がでて良かった。最後まで諦めないで全力でやる気持ちを忘れないでこれからもやって頂きたい。来年は3連覇できるようにしたいと思います」と語られました。(青少年育成部)



# 『にとはちさま』公演を終えて

9月27日（日）、第14回「にとはちさま」公演が古牧小学校で開催されました。古牧小学校、緑ヶ丘小学校、南部小学校のご理解をいただき、これまで14回もの公演を重ねてくることが出来ました。

その陰には、地域の方々だけでなく、企業様、団体の皆様の地域伝統文化事業に対するご理解・ご協力を賜り、パンフレットに162口もの広告をいただき、感謝申し上げます。

古牧地区の市制100周年記念事業としてスタートした民話劇「にとはちさま」ですが、長野市内でその事業を続けているのは、この「にとはちさま」だけだと聞いております。



にとはちさま保存会会長 伊藤 一之  
これからも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年の「にとはちさま」は、4年生から6年生まで総勢35名で5月10日に開始式を行いました。低学年の時に「にとはちさま」を観て演劇をやってみたかった子どもたちや、お兄ちゃん・お姉ちゃんがやっていた兄弟・姉妹関係の子どもたちが多かったようです。練習は毎週日曜日、ご家庭の都合や遊びたいこともあったかと思いますが、公演まで本当によく頑張ってくれました。



参加してくれた子どもたちにとって、学校の事業では経験できない演劇を学年を超えた異年齢集団で心を一つに目標に向かって頑張ったことは、一生忘れないことでしょう。

末長く「にとはちさま」を語り繋いで欲しいと思います。

## 鎮魂歌

金子三都治氏（故人）＝北条＝が「いま敵味方を忘れ、恩讐を超えてこれからの諸霊に捧ぐる鎮魂の歌としたい」としたためた「写真・短歌集『鎮魂集』」という歌集があります。そこには見たまま、ありのままの戦争の様子が記されています。

このたびご遺族のご厚意でこの歌集から抜粋して掲載させていただけることとなりました。感謝し御礼申し上げます。（広報部）

### 写真・短歌集『鎮魂歌』

金子三都治

白布の小箱に変わりたる戦友  
母待つ祖国へ今日還りゆく

弟と同名の墓標を黄河畔に見て  
夜更けまで寝つかれぬわれ

地を低く襲いし敵機の爆風に  
麦は倒れて波と揺れゆく

大行の嶺に他隊の墓標二基  
昨日分哨は敵襲されぬ

（註）昭和十四年八月晋東作戦

屋上に待伏せ集中投下せし敵  
手榴弾に友は盲ひぬ

平野伍長と昨日酌みたるに  
今日は亡し明日はわが身か月  
見つつ寝ぬ

野営して踏み荒らされし棉畑  
いくさを恨む農を肯ふ

家の飼馬なりとも踏み越え来  
たりしと戦の非情を友と語りぬ

「アツツ島に山崎部隊玉碎」と  
無電傍受す樺太山中に



## 人生の労をねぎらい長寿を願う 時が刻まれた顔は笑顔に

「敬老の日」を前後して古牧地区の各区で敬老会が開かれました。いろいろなアトラクションやゲーム、子どもたちとの交流など、各区とも工夫を凝らしてお年寄りを敬い、長寿を願いました。

五分一区は9月19日に五分一公民館で開催。区内には252人（70歳以上）の対象になるお年寄りがありますが、うち46人が出席しました。

遠藤一男区長は「これまで色々な経験をしてきたと思います。それらを地域に活かして



いただきありがとうございます」などとあいさつ。会は神楽（五分一神楽保存会）、乾杯、津軽三味線（謙竹会）、子ども会のコーラスと進みました。テーブルでは小学6年生の児童がお年寄りといっしょに会食しビンゴゲーム。老若男女、時を忘れ笑顔と歓声があふれました。

高校の同窓会長をしている83歳の女性は「まだまだ頑張らないとね。まちの仕事ももっとしたい。できることをしていくよ」と笑います。初めて参加した82歳の男性は「私が区長の時にこの公民館ができた。ここで



敬老会なんて感無量」。買い物と夕食作りが日課の82歳の女性は「若いもんがおいしいと食べてくれるし、苦労もしたが今は毎日が幸せ」と語りました。

東和田区の敬老会は9月22日。東和田公会堂に60人弱のお年寄りが集いました。268人の方を招待（75歳以上）しています。

「みなさん元気で長生きしてください」と野村薫一区長があいさつしました。招待者を代表して85歳の男性は「長生き、いい東和田区、日本一住みよい地域にするため協力したい」と語りました。



小学1年生から5年生までの7人が敬老作文を発表。「おじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。長生きしてください」など思いを伝えました。

祝宴の部では圧巻のカラオケ。会場も大歓声で、針が振り切れるようなボルテージでした。楽器演奏やマジック、合唱などを楽しみ



ました。68歳の男性は「一段と時の変わり目を感じている。若者にしっかりバトンタッチをとる感を強くした」と語ります。初めて参加した76歳の女性は「出てみてすごく楽しい。ふれあいが素敵。こういう雰囲気いいですね。また来年参加します」とニコニコでした。

（広報部）

## 内山二郎先生をお招きし「傾聴ボランティア養成講座」が開催されました

9月15日、フリージャーナリストで長野県の長寿社会開発センターの理事長を務めてお



られます内山二郎先生にお出でいただき、38名の参加者により「傾聴ボランティア養成講座」が開催されました。

超高齢化社会の到来により地域社会の中で孤立化する高齢者に対して私たちはどのように接していくべきか、参加した皆さんは熱心に学びました。聞き役に徹することの大切さ、自分の考えで会話はしないこと、答えを出さなくても良いと言うこと、聞くのではなく相手の心に寄り添って聴くことが大切であると学びました。

（福祉健康部）



## 秋の交通安全運動週間

### 笑顔で「ただいま」「おかえり」

無事故、交通安全を願って秋の交通安全運動が9月21日から30日まで取り組みられました。交通マナーの普及・浸透と実践を呼びかけ、特に子どもたち、お年寄りの事故を減らすことに重点がおかれしました。

運動週間に先立ち18日、今年は長野総合運動公園（東和田）で約200人が参加して出発式を開催。阿部守一知事をはじめ、各氏が交通安全



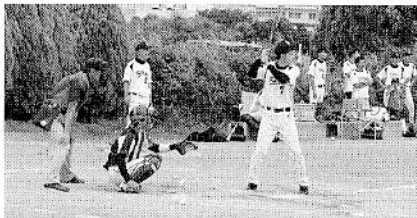
への取り組み強化などを訴えました。

出発式では高校生が「私たちは交通ルールを守り、交通安全に努めます」などと宣誓。トラックと自転車を使った交通事故ケースをもとにしたデモンストレーションがあり、参加者からは「怖いね～」の声も上がっていました。その後、「運動公園」交差点で信号待ちのドライバーにチラシやティッシュなどを配りました。参加した男性は「ここはチラシの受けとりがいい。やりがいがある。事故がなくなるといい」と語りました。（広報部）



## 3種目で熱戦 公民館対抗球技大会開かれる

8月23日（日）、厳しい残暑を心配しましたが幸いにも曇天、絶好のコンディションの中、第32回古牧地区公民館対抗球技大会が開かれました。野球、排球（女子）、卓球の3種目で熱戦が繰り広げられ、地域住民が交流し理解と親睦を深めた1日でした。



野球は12チームが参加。力のこもった好ゲームが展開されました。結果は前年度優勝・準優勝チームが早々に敗退する波乱のなか、西尾張



部チームが堅い守りと抜群のチームワークで栄冠を勝ち取りました。

排球は11チームが参加。こちらも日頃の成果を十二分に発揮しました。上高田チームが優勝しました。宮本キャプテンは、「誰かに頼らず、全員で頑



張ろうという目標で一年練習しました。成果が出て嬉しかったです」と語りました。

卓球は8チームが参加。決勝戦は南高田チームと南長池チームでフルセットの末3対2で南高田チームが優勝しました。（公民館部）

## 球技大会成績

**野 球**  
優 勝：西尾張部  
準優勝：中 村  
3 位：上高田  
西和田

**排 球**  
優 勝：上高田  
準優勝：五分一  
3 位：西和田

**卓 球**  
優 勝：南高田  
準優勝：南長池  
3 位：北 条  
上高田A

# 10月～11月の主な行事実施日のお知らせ

多くの皆様の参加を  
お待ちしております

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
ふるさとふれあい教室	10月18日(日)	櫻ヶ岡中	ウォークラリーほか	公民館部 226-5120
介護者の集い	10月19日(月)	古牧公民館	介護者の交流	ボランティアセンター 244-8159
ふるさと文化芸能祭	11月3日(火)	古牧公民館 古牧小体育館	作品展示、芸能発表	公民館部 226-5120
交通安全街頭啓発活動	11月4日(水)	西尾張部交差点	交通安全の啓発	交通安全部 224-8494
学校と地域で人権を 考える集い	11月13日(金)	古牧小学校	人権の参観と研修	人権・男女参画部 243-0165
総務部会視察研修	11月18日(水)	下諏訪町、豊田市 ほか	防災、環境美化の視察研修	総務部 243-3545
男性の料理教室	11月20日(金)	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159

しゃばえんびつ



## 一步前に踏み出す勇気を

国勢調査は5年毎に行われている。大正9年、1920年に始まり今回で20回目となる。今回からインターネットが利用できるようになった。出来るだけネットによる回答をお願いし、回答者と調査委員の負担を少しでも軽減しようとするものである。パソコンは当然であるがスマホも利用できる。

総務省は25年末のインターネット普及率を79.1%、13歳～49歳までがその9割を占め、60代は大きく下落していると推定している。驚くべき数字である。10人に8人が利用しその恩恵に預かっている。その反対に年齢の高い2人が関わりを持っていないこととなる。

9月16日の信濃毎日新聞に東日本大震災で被災した岩手県大槌町の中学生を支援している「南部ハナマガリTシャツプロジェクト」の活動が掲載された。

今までの活動の締めくくりとして、被災した3月11日をスタートの日めくりカレンダーをつくり被災地に届ける。その内容は独自のデザインと支援者の応援メッセージを掲載するものである。

その製作費はインターネットを介し趣旨に賛同する不特定多数の支援者に寄付を募る「クラウドファンディング」・「READYFOR」を利用して捻出する。

この「クラウドファンディング」は耳にしたこともなかったが、最近、資金力がないが志があり熱い思いのある小さなボランティアがこれを利用し事業費を捻出し活動していると聞くようになり身近なツールとなってきた。

このプロジェクトは今までTシャツ・手ぬぐい等15,000点を販売し、681万円を同町の2つの中学校の部活動支援費として寄付をしてきている。

今の世の中、インターネットを活用し色々な情報を取ることもできるし非常に便利になった。インターネットは単なるツールで利用するのは個々の人間、使いこなすのは人である。この便利な道具を使わない手はない、情報難民にならないためにも一步前に踏み出す勇気を持ちたいものだ。(高澤 千明)



古牧地区の世帯数と人口

27年9月1日現在

11,080 世帯

26,716 人

(男 13,155人 女 13,561人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話・FAX 259-8359)  
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 武重 博明
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈲小池印刷